

基本目標 1 安全で快適な生活環境づくり

①健康で快適な暮らしを守るプロジェクト

主体	行政																																																												
4年間の具体的な取り組み	■大気・水質の把握と情報発信 環境調査を定期的実施し、環境基準値を超過する事案が発生した場合は原因究明を行うなど、迅速および的確に対応した。 ○大気環境調査 <table><tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>小堤</td><td>0.033</td><td>0.016</td><td>0.010</td><td>0.024</td><td>0.023</td></tr><tr><td>三上小</td><td>0.023</td><td>0.012</td><td>0.015</td><td>0.039</td><td>0.046</td></tr><tr><td>駅前北</td><td>0.016</td><td>0.008</td><td>0.011</td><td>0.008</td><td>0.042</td></tr><tr><td>七間場</td><td>0.012</td><td>0.028</td><td>0.020</td><td>0.022</td><td>0.002</td></tr></table> 【調査回数】 年1回（夏季：小堤、三上小、駅前北） 年2回（夏季・冬季：七間場） 【調査項目】 二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、一酸化炭素（冬季のみ上記項目＋アスベスト） ○河川水質調査 <table><tr><td>BOD(mg/l) 75%値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>新 川(C)</td><td>2.1</td><td>1.4</td><td>1.6</td><td>2.1</td></tr><tr><td>江口川(C)</td><td>2.6</td><td>4.1</td><td>2.7</td><td>4.5</td></tr><tr><td>童子川(C)</td><td>1.9</td><td>1.3</td><td>1.9</td><td>1.8</td></tr><tr><td>祇王井川(C)</td><td>1.9</td><td>1.3</td><td>2.2</td><td>1.8</td></tr><tr><td>大山川(C)</td><td>2.0</td><td>1.2</td><td>1.6</td><td>2.0</td></tr></table> 【調査回数】 年4回（環境基準C類型指定） 新川、江口川、童子川、祇王井川、大山川（5河川） 年1回 友川、大井川、工場排水路井口、工場排水路六条（4河川） 【調査項目】 水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、浮遊物質、溶存酸素量、全窒素、全リン、ノルマルヘキサン抽出物質 ※有害物質のみ調査：上記9河川+家棟川、光善寺川（11河川） ■事業所における環境配慮の取組の拡大 ○市内事業所との環境保全協定の締結 ・市環境条例に基づき、工場・事業所周辺の生活環境を保全するとともに、協定締結を進めた。 ・現時点で協定締結の対象となっている115社のうち112社と協定を締結した。 ○環境メールマガジンや環境研修会の開催 ・環境保全に係る関連法令や管理技術の情報をHPに掲載している。各事業所へメール配信をるところまでは至っていない。 ■その他 ○公害苦情対応 ・典型七公害（水質汚濁、大気汚染、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下）の苦情件数を抑制する。 苦情発生時には直ちに対応するとともに、再発防止に向けた指導を行った。		H28	H29	H30	R1	R2	小堤	0.033	0.016	0.010	0.024	0.023	三上小	0.023	0.012	0.015	0.039	0.046	駅前北	0.016	0.008	0.011	0.008	0.042	七間場	0.012	0.028	0.020	0.022	0.002	BOD(mg/l) 75%値	H29	H30	R1	R2	新 川(C)	2.1	1.4	1.6	2.1	江口川(C)	2.6	4.1	2.7	4.5	童子川(C)	1.9	1.3	1.9	1.8	祇王井川(C)	1.9	1.3	2.2	1.8	大山川(C)	2.0	1.2	1.6	2.0
	H28	H29	H30	R1	R2																																																								
小堤	0.033	0.016	0.010	0.024	0.023																																																								
三上小	0.023	0.012	0.015	0.039	0.046																																																								
駅前北	0.016	0.008	0.011	0.008	0.042																																																								
七間場	0.012	0.028	0.020	0.022	0.002																																																								
BOD(mg/l) 75%値	H29	H30	R1	R2																																																									
新 川(C)	2.1	1.4	1.6	2.1																																																									
江口川(C)	2.6	4.1	2.7	4.5																																																									
童子川(C)	1.9	1.3	1.9	1.8																																																									
祇王井川(C)	1.9	1.3	2.2	1.8																																																									
大山川(C)	2.0	1.2	1.6	2.0																																																									
検証した内容	・大気環境調査、河川水質調査共に指標に掲げる基準をみたしており、HPで結果を公開し、市民に安心を与えている。 ・環境保全協定締結事業所に対して環境基本計画への参画を促し、協働の輪の中に取り込むことを検討する必要がある。 ・典型七公害の発生原因として、野焼きの割合が高い。																																																												

②きれいなまちを守るプロジェクト

主体	行政										
4 年 間 の 具 体 的 な 取 り 組 み	■不法投棄対策										
	○不法投棄監視員の設置										
	・不法投棄行為の早期発見と未然防止のため、7学区 14 人に委嘱し、月 2 回、1 回 2 時間以上の市内巡視と回収を実施した。(年間 336 回)										
	<table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>監視員による報告件数</td><td>264</td><td>284</td><td>293</td><td>281</td></tr></table>	年度	H29	H30	R01	R02	監視員による報告件数	264	284	293	281
	年度	H29	H30	R01	R02						
	監視員による報告件数	264	284	293	281						
	○クリーンパトロールの委託										
	・週 1 回 3 班体制で市内の不法投棄物の回収と巡視を委託。受託者より不法投棄発見場所の報告を受け、不法投棄監視員とも情報共有し、監視体制を構築している。(年間 52 日延べ 156 班)										
	その他、市民から通報のあった市内の不法投棄物の回収を実施。悪質なものの、氏名が分かるものを発見した場合は、警察と連携し、行為者の特定等、再犯防止につなげた。										
	■美化活動の推進										
○ごみゼロ大作戦の実施											
・事業所・市民団体・市民に呼び掛け、琵琶湖岸の清掃活動を実施。実施団体は、HP へ掲載している。											
<table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>ごみゼロ大作戦参加者数</td><td>661</td><td>653</td><td>504※</td><td>中止</td></tr></table>	年度	H29	H30	R01	R02	ごみゼロ大作戦参加者数	661	653	504※	中止	
年度	H29	H30	R01	R02							
ごみゼロ大作戦参加者数	661	653	504※	中止							
※駐車場確保が難しくなり人数を制限しての開催											
○県下一斉清掃											
・年 2 回、自治会に呼び掛け市内の清掃活動を実施。自治会内の美化清掃に係る車両借り上げ料の一部を補助金として交付した。											
○ボランティア清掃の支援											
・自発的な清掃活動について、資材や車両の貸し出し、ごみ搬入手数料の減免などを行った。											
<table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>ボランティア清掃支援数</td><td>37</td><td>37</td><td>41</td><td>62</td></tr></table>	年度	H29	H30	R01	R02	ボランティア清掃支援数	37	37	41	62	
年度	H29	H30	R01	R02							
ボランティア清掃支援数	37	37	41	62							
○出前講座の実施											
・自治会や市民団体より、ごみの出し方や不法投棄の現状について、講師派遣依頼を受け出前講座を実施している。											
検 証 し た 内 容	・不法投棄監視員の報告件数は策定時よりも増加している。 ・不法投棄監視員・クリーンパトロール受託者と連携して、不法投棄物の回収を行い、啓発看板の支給を行う等、不法投棄が多発する箇所への抑止を行った。 ・依然として散在性のポイ捨てごみが多く、特にプラスチック製品が目立つ。新たな環境問題であるマイクロプラスチックへの対策として、清掃活動を通じたマイクロプラスチックの発生抑制が必要である。 ・ボランティア清掃のための資材貸し出しや回収されたごみの処理を支援することで、自発的な清掃活動が増えている。										



③まちなかの緑づくりプロジェクト

主体	公園整備：行政 緑化推進：環境基本計画推進会議（緑の推進委員会、やす緑のひろば）				
4年間の具体的な取り組み	■緑の保全と創造				
	○樹木苗の定植				
	・緑の募金事業の支援にて、緑の推進委員会が中心となり、他団体の協力を得て、公共施設等に樹木苗を植樹した。				
	年度	H29	H30	R01	R02
	植樹数	本数不明	150	80	56
	○樹木の管理と剪定講習会				
	・樹木医を講師として、自治会や自宅の樹木の手入に役立つ知識や、剪定の技術を提供し、緑化を適正に管理する手助けとなるような座学と、剪定整備の実習を講習会として実施した。				
	年度	H29	H30	R01	R02
	参加者数	9	14	中止	32
	○自然体験学習イベント				
・市民団体が整備保全を実施している河辺林で、子どもから大人までを対象とし、イベントを通じて自然体験をすることで、樹木や生態系についての学びの場としての役割を果たしている。					
参加者数	年度	H29	H30	R01	R02
昆虫観察会		233	97	109	中止
植物観察会		29	41	28	中止
タケノコ掘りイベント		54	31	47	中止
秋の自然の森ふれあいイベント		－	23	30	59
自然の森体験学習会		36	100	100	中止
○公園整備					
・4年間で行政が行った都市公園の整備はない。公園整備に向けた動きとして、令和元年度にみどりの基本条例が制定され、現在みどりの基本計画策定に向け進行中である。					
■野洲川河辺の森林の保全活動					
・野洲川改修で廃川となった北流跡の荒廃していた竹林を、人々が憩い子どもたちが野遊びをするような自然に親しめる森にして次世代に引き継ぐことを目指し、市民団体が定期的・計画的な保全活動を実施、美しい景観が保たれている。伐採した竹や樹木は橋や階段等に利用し、またチップ化して場内で100%再利用している。					
年度	H29	H30	R01	R02	
保全活動 回数／人数	39／526	36／487	37／441	34／535	
					
検証した内容	・野洲川河辺林での緑化推進では、市民団体による保全活動の実施やイベントが開催され整備が行き届き、憩いの場として利用する市民が増えている。 ・主体で活動する市民団体以外の団体がなく、後継者が見いだせていない。 ・野洲市総合計画において本計画の指標にもある市民1人当たりの公園面積について、10㎡から8.5㎡に変更されていることから整合性を図る必要がある。				

基本目標 2 循環型・低炭素社会づくり

④ごみの資源化プロジェクト

主体	行政、環境基本計画推進会議（エコ資源部会）				
4年間の具体的な取り組み	■再使用の啓発 ■ごみの資源化の促進				
	○廃食油の回収				
	・毎月第4土曜日に市役所構内で、エコ資源部会による廃食油回収を行っている。市では13箇所での回収を行っている。回収した廃食油は、事業者へ引き渡し全量リサイクルしている。				
	年度	H29	H30	R01	R02
	市回収BOX	3,610	3,378	3,486	3,608
	エコ資源部会	975	842	865	919
	合計量（ℓ）	4,585	4,220	4,351	4,527
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
リサイクルペーパー	93	86	56	—	
エコキャンドル	67	18	32	—	
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					
・ごみの減量・再使用化につなげるため、家庭で粗大ごみとして排出された家具類等を無償で譲渡している。					
4年間の具体的な取り組み	年度	H29	H30	R01	R02
	リユース品譲渡数	27	20	22	26
	参加者数	38	27	30	100
	○食器類のリユース				
	・野洲市では不燃物扱いの食器類を再使用につなげるため、リユース譲渡会を実施している。平成30年にはコミセンなかさとで約9tの持ち込みがあった。食器類のリユースやリサイクルについて先進的な取り組みをされている行政、団体及び企業から知識や情報を収集し、本市での本格稼働を目指している。				
	○環境学習会の実施				
	・雑がみを利用して、アート作品を作る講座（リサイクルペーパーアート）や、使用済み食用油を利用して、カラフルなキャンドルを作る講座（エコキャンドル）を行い、リサイクル化を見える形で伝えている。				
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02
	リサイクルペーパー	93	86	56	—
	エコキャンドル	67	18	32	—
○リユース無償譲渡会					

⑤ごみ減量プロジェクト

主体	行政、環境基本計画推進会議（ごみを減らそうプロジェクト）																																																																										
4年間の具体的な取り組み	■ごみの減量化推進 ○出前講座の実施 ・ごみに関する問題について関心を持ち、3Rを普及させるため、学校や自治会事業等においてごみ減量の各種啓発出前講座を実施した。 <table><tr><td>参加者数 \ 年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>雑がみ出前講座</td><td>308</td><td>249</td><td>556</td><td>381</td></tr><tr><td>人形劇</td><td>193</td><td>265</td><td>25</td><td>—</td></tr><tr><td>紙芝居</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>エコダンス</td><td>193</td><td>88</td><td>25</td><td>—</td></tr><tr><td>ごみ分別クイズ</td><td>75</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>食品ロス寸劇</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>25</td></tr></table>   ○レジ袋削減・マイバッグ持参推進キャンペーンの実施 ・食品ロス削減やマイバッグ携帯、グリーン購入について市民に周知し、環境に配慮した消費行動を促すため、市内小売事業者の店舗店頭において、マイバッグ携帯等の呼びかけを実施した。また3R推進月間に合わせて、手作りのマイバック持参啓発ポスターを作成し、小売店や公共施設の協力により店舗等に掲示、ごみ減量の意識を向上させる取り組みを行った。 <table><tr><td>施設数 \ 年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>ポスター掲示依頼</td><td>141</td><td>139</td><td>138</td><td>138</td></tr><tr><td>店頭キャンペーン</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td></tr></table> ○食品ロス・不法投棄等に係る学習会 ・ごみの減量やプラスチックごみの削減による環境保全を図ることを目的に、食品廃棄の現状やプラスチックごみ削減について等、講師を招き学習会を実施した。 <table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>学習会参加者数</td><td>10</td><td>9</td><td></td><td>14</td></tr></table> ・1人あたりの一般廃棄物の排出量 <table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>排出量(g／人・日)</td><td>777</td><td>805.5</td><td>748.6</td><td>767.9</td></tr></table>					参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02	雑がみ出前講座	308	249	556	381	人形劇	193	265	25	—	紙芝居	30	—	—	—	エコダンス	193	88	25	—	ごみ分別クイズ	75	—	—	—	食品ロス寸劇	—	—	—	25	施設数 \ 年度	H29	H30	R01	R02	ポスター掲示依頼	141	139	138	138	店頭キャンペーン	2	2	2	3	年度	H29	H30	R01	R02	学習会参加者数	10	9		14	年度	H29	H30	R01	R02	排出量(g／人・日)	777	805.5	748.6	767.9
参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02																																																																							
雑がみ出前講座	308	249	556	381																																																																							
人形劇	193	265	25	—																																																																							
紙芝居	30	—	—	—																																																																							
エコダンス	193	88	25	—																																																																							
ごみ分別クイズ	75	—	—	—																																																																							
食品ロス寸劇	—	—	—	25																																																																							
施設数 \ 年度	H29	H30	R01	R02																																																																							
ポスター掲示依頼	141	139	138	138																																																																							
店頭キャンペーン	2	2	2	3																																																																							
年度	H29	H30	R01	R02																																																																							
学習会参加者数	10	9		14																																																																							
年度	H29	H30	R01	R02																																																																							
排出量(g／人・日)	777	805.5	748.6	767.9																																																																							
検証した内容	・未就学児から高齢者まで楽しみながらごみ問題にふれる講座が多く、環境問題を考える入り口の役割を果たしている。 ・環境学習の一環として、ごみに関する講座を授業で取り入れた学校がポスター作成を行い、市内公共施設等で掲示し、子どもたちの学びを地域に還元し啓発の役割を果たした。 ・ごみ減量プロジェクト発足以来の取組であるレジ袋削減・マイバック持参運動が実を結び、国の政策としてのレジ袋有料化が始まった。 ・ごみの排出抑制を通じたマイクロプラスチック、食品ロス等への対応が必要。 ・ごみ問題に関心のある人に積極的に声をかけ、参画者が増えている。 ・令和3年度に一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の見直しを行うので、1人1日あたりのごみの排出量（指標）について整合性を図る必要がある。																																																																										

⑥地球温暖化対策推進プロジェクト

主体	行政																				
4年間の具体的な取り組み	■交通対策によるCO2削減 ○市内を循環するコミュニティバスの運行 ・運転免許証自主返納者増加に伴う公共交通への転換促進、通勤・通学者への公共交通への切り替え普及、自治会への利用呼び掛け、路線の増数・増便を実施し、利便性向上を図った。 <table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>おのりやす乗車人数</td><td>49,614</td><td>52,115</td><td>55,719</td><td>45,718</td></tr></table> ■省エネルギーの推進 ○エコドライブの普及啓発 ・エコドライブ講習会を開き、講義の他、実車実技を行い乗り方の工夫で燃費が向上し、CO2 排出抑制につながることを受講者が体感することで、自動車によるCO2 排出抑制の啓発を行った。 <table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>エコドライブ講習会参加者数</td><td>6</td><td>8</td><td>6</td><td>未実施</td></tr></table> ■未利用エネルギーの利用 ○クリーンセンターのサーマルリサイクルによる余熱の有効利用 ・これまで使われていなかった廃棄物焼却熱を回収し温浴施設へ熱供給を開始した。（令和2年7月竣工）  	年度	H29	H30	R01	R02	おのりやす乗車人数	49,614	52,115	55,719	45,718	年度	H29	H30	R01	R02	エコドライブ講習会参加者数	6	8	6	未実施
年度	H29	H30	R01	R02																	
おのりやす乗車人数	49,614	52,115	55,719	45,718																	
年度	H29	H30	R01	R02																	
エコドライブ講習会参加者数	6	8	6	未実施																	
検証した内容	・市民の自動車保有率はまだ高く、市内移動において自家用車への依存する生活から公共交通へシフトできていない。加えて民間バス事業者からの減便案の要望があり、バス会社や自治会との調整が必要。 ・実車実技を行う講習会のため、参加者が少数になってしまうこと、また近年自動車の燃費の向上や、電気自動車や燃料電池車の開発が進む一方、実車実技に限られるため、講習会の有効性が疑問である。 ・クリーンセンターの熱利用施設が竣工したため、新たな指標を設ける必要がある。 ・社会情勢に対応した取組や指標が必要。																				



基本目標 3 里山から琵琶湖へつながる自然環境づくり

⑦みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト

主体	行政、環境基本計画推進会議（NPO家棟川流域観光船 他）													
4年間の具体的な取り組み	■水環境・川の生きものの生息環境の保全													
	○家棟川エコ遊覧													
	・屋形船から家棟川の実態を見ながら、環境保全について市民に語りかけ、川に親しみ人間を含む生き物のために、ごみを捨てないように呼びかけた。同時に川のごみを拾い、川をきれいにする清掃活動を行っている。豊かな生態系がある一方、絶えない不法投棄の現状を間近で見ることで河川環境を知る機会となっている。													
														
	年度	H29	H30	R01	R02									
	エコ遊覧運行(回数／参加者)	20／234	11／220	5／136	6／32									
	○ビワマスを戻す取り組み													
	・平成27年度、ビワマスを戻すプロジェクトを立ち上げ、行政（市・県）、市民、市民団体、事業所、研究機関が協働で中ノ池川において、ビワマス遡上の促進のため、産卵床の造成や仮設魚道の設置、遡上調査、稚魚調査を行った。毎年度の成果報告や他市町の川づくりの取組に係る事例発表や交流の場として「ビワマスフォーラム」を開催し、市民と関係者が一堂に会し、環境保全の必要性を共有している。													
	年度	H29	H30	R01	R02									
	1日あたり最大遡上確認数	3	4	4	11									
産卵床3ヶ所での稚魚確認数	18	13	2	10										
ビワマスフォーラム参加者数	91	85	100	—										
														
※中ノ池川にある3.2mの落差が魚にとって障害であったため、落差工に仮設魚道を設置している。ビワマスが仮設魚道を遡上している姿はこれまでも目撃されていたが、令和2年度では落差工より上流で稚魚を初確認した。孵化が確認できたことは大きな成果である。														
※自治体と市民団体及び企業が連携・協働しながら進めている本取り組みは、滋賀県職員の研修でそれぞれの立場から事例発表をしている。														
※淡海の川づくりフォーラム準グランプリ（平成29年：滋賀県知事賞）、地域環境保全功労者表彰（平成29年：環境大臣表彰）、淡海の川づくりフォーラムグランプリ（令和2年：滋賀県知事賞）を受賞し、取り組みが認められている。														
○河川清掃活動														
・家棟川、童子川、中ノ池川、妓王井川等の清掃活動を定期的実施した。														
<table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>清掃活動回数</td><td>9</td><td>3</td><td>13</td><td>14</td></tr></table>					年度	H29	H30	R01	R02	清掃活動回数	9	3	13	14
年度	H29	H30	R01	R02										
清掃活動回数	9	3	13	14										
○県ビオトープでの環境学習会への協力														
・県が年2回開催するビオトープでの環境学習会の運営に協力した。														
検証した内容	・エコ遊覧は河川環境を知る機会となっている他、運航のために河川清掃を実施している。河川清掃、エコ遊覧船の運行により、琵琶湖へのごみの流入を防いでいる。かつては大型ごみの不法投棄が多く見られたが、現在は激減している。													
	・ビワマスを戻す取り組みは、市民・市民団体・企業・行政・研究機関が協働で事業を進めており、毎年度の活動についての方針の確認と情報の共有を行っている。県内外でモデルとなっている。													
	・外来生物対策の推進が必要。													
	・新規の参画者が少ない。													
	・ビワマスが遡上する河川沿線の自治会とのつながりが薄くなっている。													

⑧里山を守り育てるプロジェクト

主体	行政、環境基本計画推進会議（山部会）																																																												
4年間の具体的な取り組み	■里山づくりの推進 ○里山・林道の保全活動 ・小堤・大篠原の山林を中心に里山整備を実施。草刈りや倒木の除去、伐木、路肩等の整備や階段の修繕等を精力的に行い、市内の山城等の遺跡を見学する環境は飛躍的に改善した。定期的に遺跡見学会のを実施していることも併せ、里山の遺跡の理解を深めることに繋がっていることを市教育委員会からも評価されている。 <table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>保全活動 回数／人数</td><td>35／407</td><td>46／377</td><td>42／426</td><td>42／449</td></tr></table> ■森林資源の活用 ○子どもや市民が里山に親しむ活動 ・市民や子どもたちに地元の山に登り、登山を通じて自然の豊かさを感じてもらい、山を保全する意欲や自然を大切にする心を醸成させるためのイベントを開催した。 <table><tr><td>参加者数</td><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>タムシバ山春登山</td><td></td><td>40</td><td>30</td><td>40</td><td>26</td></tr><tr><td>篠原小学校「伊勢道峠越え」</td><td></td><td>181</td><td>173</td><td>196</td><td>中止</td></tr><tr><td>北野幼稚園里山自然観察会</td><td></td><td>78</td><td>89</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>秋登山</td><td></td><td>18</td><td>5</td><td>25</td><td>39</td></tr><tr><td>城山初日の出登山</td><td></td><td>30</td><td>31</td><td>32</td><td>中止</td></tr></table> ○森づくり塾 ・山部会員や市民が山作業の仕方や生き物、里山の歴史について実習・学習し、里山案内人としての技量や知識を得るために実施。 <table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>森づくり塾 回数／参加者数</td><td>1／13</td><td>1／23</td><td>2／51</td><td>2／81</td></tr></table> ○野洲の山を知る探索 ・毎月第4土曜日に、里山の現状や季節ごとに変化する里山の面白さを知る探索を行った。また各事業の下見としても実施し、当日の登山コースの確認やレスキュー杭の点検を行った。 ○他の団体やプロジェクトとの協働活動・交流 ・他の団体やプロジェクトの活動に参画し、交流やPR活動を行った。					年度	H29	H30	R01	R02	保全活動 回数／人数	35／407	46／377	42／426	42／449	参加者数	年度	H29	H30	R01	R02	タムシバ山春登山		40	30	40	26	篠原小学校「伊勢道峠越え」		181	173	196	中止	北野幼稚園里山自然観察会		78	89	—	—	秋登山		18	5	25	39	城山初日の出登山		30	31	32	中止	年度	H29	H30	R01	R02	森づくり塾 回数／参加者数	1／13	1／23	2／51	2／81
	年度	H29	H30	R01	R02																																																								
	保全活動 回数／人数	35／407	46／377	42／426	42／449																																																								
	参加者数	年度	H29	H30	R01	R02																																																							
	タムシバ山春登山		40	30	40	26																																																							
篠原小学校「伊勢道峠越え」		181	173	196	中止																																																								
北野幼稚園里山自然観察会		78	89	—	—																																																								
秋登山		18	5	25	39																																																								
城山初日の出登山		30	31	32	中止																																																								
年度	H29	H30	R01	R02																																																									
森づくり塾 回数／参加者数	1／13	1／23	2／51	2／81																																																									
検証した内容	・計画的・定期的な保全活動により、良好な里山環境が保たれている。 ・自然とふれあう体験学習を開催し、森林資源の活用促進を図ることで、市民参加の場が増加している。 ・参加者は多いが、核となる人材の後継者がいない。																																																												

⑨びわ湖を守ろうプロジェクト

主体	行政、環境基本計画推進会議（びわ湖の水と地域の環境を守る会 他）																								
4 年間の具体的な取り組み	■水環境の保全 ○ヨシ群落再生 ・中主小学校びわ湖環境学習＆ヨシ苗作りからヨシ植えまで、毎年学校区に琵琶湖がある中主小学校において、琵琶湖の環境についての学習（講座）の後、子どもたちがヨシ苗をポットに入れ学校の池で大きくなるまで育てる。育てた苗は琵琶湖に植えに行き、琵琶湖の豊かな恵みを取り戻すための環境づくりを行っている。 ・ヨシ群落再生＆松林保全  一般（市民、市民団体、企業等）を対象にかつて群落していたヨシ帯の再生のため、あやめ浜付近の浜辺にヨシの植栽を、あやめ浜の松林が保全されるよう下草刈りをイベントとして実施している。その際に歩道や琵琶湖に漂着しているごみ拾いも同時に行い、琵琶湖の環境向上のためのイベントとなっている。 ・企業CSR活動によるヨシ植栽支援 企業のCSR活動として実施されるヨシ植栽について、道具類の貸し出しの他、植栽の指導等を行っている。																								
	<table><tr><td>参加者数 \ 年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>中主小学校（学習、苗作り、植栽）</td><td>378</td><td>681</td><td>399</td><td>351</td></tr><tr><td>ヨシ植群落再生＆松林保全</td><td>268</td><td>287</td><td>260</td><td>243</td></tr><tr><td>企業 CSR 活動支援</td><td>430</td><td>439</td><td>450</td><td>45</td></tr></table>					参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02	中主小学校（学習、苗作り、植栽）	378	681	399	351	ヨシ植群落再生＆松林保全	268	287	260	243	企業 CSR 活動支援	430	439	450	45
	参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02																				
	中主小学校（学習、苗作り、植栽）	378	681	399	351																				
	ヨシ植群落再生＆松林保全	268	287	260	243																				
企業 CSR 活動支援	430	439	450	45																					
○びわ湖に親しむイベント ・あやめ浜まつり しじみ採り体験、湖魚料理による食文化体験を通して、琵琶湖に親しみ、琵琶湖について学ぶことで水環境の保全意識の高揚を図っている。 ・漁民の森づくり びわ湖の水源を守るために、漁業関係者と生産森林組合とが協力し、琵琶湖の水源となる大篠原の山に植樹するイベントを実施している。  																									
<table><tr><td>参加者数 \ 年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>あやめ浜まつり</td><td>102</td><td>110</td><td>156</td><td>中止</td></tr><tr><td>漁民の森づくり</td><td>231</td><td>245</td><td>87</td><td>70</td></tr></table>					参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02	あやめ浜まつり	102	110	156	中止	漁民の森づくり	231	245	87	70						
参加者数 \ 年度	H29	H30	R01	R02																					
あやめ浜まつり	102	110	156	中止																					
漁民の森づくり	231	245	87	70																					
○びわ湖清掃活動 市民団体と自治会が協働し定期的に清掃活動を実施している。																									
検証した内容	・大人数を集めてのイベントの他、学校での出前授業や定期的な琵琶湖岸清掃やヨシ帯保全活動を行うことで、少しずつヨシ帯が増えてきた。 ・イベント開催周辺の自治会の協力があり、スムーズに実施できている。 ・イベントの参加者は多いが、核となる人材の後継者がいない。 ・イベント参加後の行動が琵琶湖の保全のために行動変容しているかが不明。																								



⑩環境にやさしい農地の活用プロジェクト

主体	行政、農業者																														
4年間の具体的な取り組み	■環境保全型農業の推進 ○環境に配慮した農産物の推進 ・環境保全型農業直接支援対策の推進 国及び地方公共団体の交付金「環境保全型農業直接支払交付金」によって、環境こだわり農産物の生産にあわせて地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して支援を行っている。市においては農業組合長会議等で制度を周知し、定着してきている。また「環境保全型農業直接支払交付金」の支援対象取組の一つである有機農業の取組は、令和2年度から有機JAS相当の取組が必要となったことにより、改めて取組制度の説明・周知を行った。 <table><tr><td>栽培面積 \ 年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>環境こだわり農産物</td><td>1007ha</td><td>969ha</td><td>967ha</td><td>905ha</td></tr><tr><td>有機農業</td><td>18ha</td><td>24ha</td><td>24ha</td><td>22 ha</td></tr></table> ・ゆりかご水田 ゆりかご水田を進める農業者で、琵琶湖から湖魚が田んぼへ遡上できるよう排水路に魚道を設置するなど、昔ながらの水田環境を取り戻す取組を行っている。また対象の水田で田植え体験会や生き物観察会などにも取り組み、盛んに活動している。 滋賀県では遡上してきた魚が産卵し、魚の子どもが成育した水田で栽培され、一定の栽培基準等を満たして生産されたお米を「魚のゆりかご水田米」として認証している。 ■有害鳥獣対策 ○農産物被害の軽減のための有害鳥獣の捕獲 有害鳥獣による農業被害を受けたという相談に対し、檻の貸し出しや猟友会等を派遣し被害軽減に努めた。 <table><tr><td>駆除数 \ 年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>鳥類</td><td>361</td><td>491</td><td>462</td><td>590</td></tr><tr><td>獣類</td><td>48</td><td>71</td><td>91</td><td>35</td></tr></table>  検証した内容 ・消費者により安全で安心な農産物を供給できた。また、魚のゆりかご水田などで琵琶湖の環境保全にも寄与し、イベント等を通じて知名度もアップした。 ・猟友会や関係機関と連携し、有害鳥獣駆除を行っているが、有害鳥獣の相談件数は減っていない。	栽培面積 \ 年度	H29	H30	R01	R02	環境こだわり農産物	1007ha	969ha	967ha	905ha	有機農業	18ha	24ha	24ha	22 ha	駆除数 \ 年度	H29	H30	R01	R02	鳥類	361	491	462	590	獣類	48	71	91	35
栽培面積 \ 年度	H29	H30	R01	R02																											
環境こだわり農産物	1007ha	969ha	967ha	905ha																											
有機農業	18ha	24ha	24ha	22 ha																											
駆除数 \ 年度	H29	H30	R01	R02																											
鳥類	361	491	462	590																											
獣類	48	71	91	35																											



基本目標 4 環境学習の推進による市民活動の促進

⑪みんなで環境学習プロジェクト

主体	行政、環境基本計画推進会議（全体）
4 年間の具体的な取り組み	■ライフステージに応じた環境学習の充実（抜粋） ・健康で快適な暮らしを守る PJ - 環境研修会（事業所向け） - 環境メールマガジン（HP で公開） ・きれいなまちをつくる PJ - ごみの出し方講座 ・まちなか緑づくり PJ - 体験学習会 - 剪定講習会 ・ごみの資源化 PJ - エコキャンドル、リサイクルペーパーアート ・ごみ減量 PJ - 紙芝居、人形劇、寸劇、雑がみ分別講座、ごみクイズ、エコダンス ・地球温暖化対策推進 PJ - エコドライブ講習会 ・里山を守り育てる PJ - 端材で木エクラフト - 森づくり塾 ・きれいな川づくり PJ - ビワマスフォーラム ・びわ湖を守ろう PJ - 琵琶湖環境学習
検証した内容	・ホームページ、チラシ等で募集するもの、学校や自治会等、団体から依頼され出向くもの等、年間を通してたくさんの環境学習機会を展開し、市民への啓発に役立っている。 ・広報やチラシ、ホームページでは情報の受け取り側の年齢層に偏りがある。 ・団体への広報手段が限定的で、新規の依頼が少ない。 ・参加者の環境保全に対する行動変容が促せているかまでは確認できていない。

⑫環境活動支援プロジェクト

主体	行政										
4 年 間 の 具 体 的 な 取 り 組 み	■学びの場の提供や活動情報の発信 ○クリーンセンターを拠点としたさまざまな講座や交流 ・環境フェスタ 年1回、クリーンセンターにおいて環境に関する学習や体験の場とした「環境フェスタ」を実施している。 〔主な内容〕 ・フリーマーケット・リユース譲渡会（リユース） ・小型家電回収・エコキャンドル作り・リサイクルペーパーアート ・伐木等廃材を使用した木工クラフト作り・木材のチップ無料配布（リサイクル） ・地元野菜や地元店舗による販売（地産地消） ・クリーンセンター見学会 ・ごみ収集車への疑似ごみ投入体験 <table><tr><td>年度</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R01</td><td>R02</td></tr><tr><td>環境フェスタ入場者数</td><td>1000</td><td>2000</td><td>2200</td><td>100</td></tr></table> ■活動団体・活動指導者と市民とを結びつける体制整備 ○環境活動を広く情報共有・発信し、各団体間の相互交流を促す 市HPや広報を利用し、情報を発信。環境基本計画推進会議の活動は「ニュースレター」として年2回発行し、会員、自治会回覧、公共施設への配架している。	年度	H29	H30	R01	R02	環境フェスタ入場者数	1000	2000	2200	100
年度	H29	H30	R01	R02							
環境フェスタ入場者数	1000	2000	2200	100							
検 証 し た 内 容	・環境フェスタに多くの市民が参加しているが、クリーンセンターを拠点とした講座や交流としては年1回にとどまっている。 ・情報発信の方法が限定的であり、どれだけの受け手がいるか把握できていない。 ・若い世代に環境保全に対する意識高揚を促すため、既存の媒体以外（SNS等）の活用の検討が必要。										